

<p>種名</p>	<p style="text-align: center;"><b>カンムリカイツブリ</b></p> <p style="text-align: center;"><u>Podiceps cristatus</u></p> 													
<p>分類</p>	<p>カイツブリ目 カイツブリ科</p>													
<p>特徴</p>	<p>鋭く尖った白っぽい色のくちばしと長い首を持った、大形のカイツブリ類。ユーラシア大陸の温帯に広く分布するほか、アフリカ、オーストラリアなどに離れた繁殖地を持つ。日本には冬鳥として渡来し、以前は1、2羽が稀に見られるだけだったが、近年渡来数が増加し、数十羽の群れも見られるようになった。また1972年に青森県で初めて繁殖が記録された。</p>													
<p>生活</p>	<p>カイツブリ類ではもっとも大形の種類で、四季を通じて湖や沼に棲息する。越冬期には内湾の海上にも現れる。体が大きいため潜水時間も長く、最長50秒位潜ることができるという。魚類を好んで食べるほか、イモリやオタマジャクシのような両棲類、昆虫類も餌とし、水草も食べる。繁殖期にはつがいで生活し、一定の水面を縄張りとする。</p>													
<p>声</p>	<p>夏期、繁殖地の湖沼では「グァーグァー」と濁った声で鳴いたり、「カーカー」といったカラスのような声で鳴く。そのほか「プープー」という低い声を出すこともある。しかし、冬期にはほとんど鳴くことはない。</p>													
<p>見分け方</p>	<p>大形カイツブリ類は首が長く、頭が角ばった形をしている。アカエリカイツブリと比べると、冬羽では首の前側が白く、目先の黒色部の上に白色部がある。</p>													
<p>時期：繁殖地 ：越冬地</p>	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-	
<p>その他</p>	<p>全長(L)56cm 翼開長(W)86cm</p>													
<p>参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>														